



四日市市立大矢知興譲小学校
校長だより 14号 R8.9.1

「なかまをもっと知ろう。力を合わせよう」始業式で話したこと

2学期は、運動会をはじめ、子どもたちがなかまとともに取り組む活動が多くあります。行事を成功させることだけを目標とするのではなく、その過程を、子どもたちが互いのことをより深く知り、それぞれのよさに気づき、力を合わせる経験につなげてほしいと思います。

1学期、各学級で取り組んできた「なかまづくり」を土台として、2学期は日々の授業や学級活動、行事などの中で、子ども同士が関わり合う場面を大切にします。「こんな考えをもっていたんだ」「こんなことが得意だったんだ」「こんなふうに友達を支えることができるんだ」と、互いの新たな一面を発見できる機会としてください。

また、なかまとの関わりは、他者のよさだけでなく、自分自身のよさに気づく機会にもなります。誰かの役に立ったり、自分の力を生かして協力したりする経験を通して、「自分にもできることがある」「自分にもよいところがある」と感じられるようになってくれるとうれしいです。

なかまをもっと知り、力を合わせ、みんなで成長する2学期となるよう願っています。



「自分で考え、互いに命を守る」避難訓練

9月18日（金）、地震を想定した避難訓練を行います。今回は、南海トラフを震源とする巨大地震が発生し、震度6強の揺れによって校内の放送設備が使用できなくなったという想定です。そのため、放送ではなく「鐘」の音を合図に避難を開始します。

実際の地震では、先生が近くにいるとは限らず、いつもの避難経路が使えないことも考えられます。そこで、「おはしも（押さない・走らない・しゃべらない・戻らない）」を守るだけでなく、なぜその行動が必要なのかを考え、自分で安全な行動をとることを大切にします。また、困っている友達への「一緒に避難するよ」「ここだよ」といった声かけは、命を守るために必要な言葉です。自分の命だけでなく、互いの命を守ることも学びます。

事前学習では防災ノートを活用し、登下校中に地震が起きた場合の行動についても考えます。ぜひご家庭でも、避難する場所や家族との連絡方法、防災用品などについて、お子さんと話し合ってください。



想定外のことが起きても、自分で考え、周りの人と助け合いながら命を守ることができること。それを今回の避難訓練で大切にしたいと考えています。

（左：職員による救助袋の訓練 令和8年8月4日撮影）

2学期より、本校では、「戻らない」を徹底するため、職員は私物を身に着けたり、防災グッズカバンを持ってもよいこととします。ご理解をお願いします。

8月の落とし物

8月中に学校に届けられた落とし物は写真の2点（ヘルメット、シール）です。心当たりの方は、職員室までお越しください。保管期間は6か月です。



学校ホームページ「学校の様子」をよろしくお願いします！

学校ホームページ「学校の様子」から、いろいろな情報を発信しています。AIを使い、やさしい日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語版も添えています。「学校の様子」または「新着情報」からお入りください。

https://www.yokkaichi.ed.jp/~ohyachi/cms2/htdocs/?page_id=250

「興譲」は保護者のみなさまに Home & School で配信するとともに、地域のみなさまに向けて学校ホームページ「学校の様子」（上のリンク）でも発信しています。

